

# 第71回全国お茶まつり長崎大会



11月11日、12日、全国の茶業関係者が一堂に集い、各地のお茶のPRなどを行う「第71回全国お茶まつり長崎大会」が、アルカスSASEBOや新みなと暫定広場などで開催され、4万人を超える来場者が日本茶の新たな楽しみ方などを体験しました。

アルカス会場では、全国から集まった約1200人の茶業関係者が出席し、全国茶品評会の表彰式などが行われました。

新みなと暫定広場では「日本茶を楽しむお茶まつり」をテーマとして、製茶から商品づくりまでのお茶づくり体験や世知原茶など全国各産地の茶の試飲販売、日本茶の淹れ方レクチャーコーナー、三川内焼の茶器の絵付け体験などが行われました。

多くの皆さんが来場する中、特に盛り上がりを見せたのが、世知原茶を使ったオリジナルスイーツのグランプリを決める「SASEBOスイーツ総選挙」でした。市内の菓子店や高校生などによる12商品が立候補し、商品を購入したお客さまからの1899票で選挙が行われました。結果、見事グランプリに輝いたのは、佐世保

商業高校と草加家菓子店が共同で商品化した大福「サクッと幸福」でした。世知原茶をふんだんに使い風味が良かった点や中にグラノーラを包み込み、味・食感共に楽しめた点などが評価され、346票を獲得しました。準グランプリには、お茶の香りとミルクのやさしい甘さが好評だったさとむら牧場・チーズ工房Florieの「しほりたてアイスクリーム佐世保世知原茶」が選ばれました。

今回のお茶まつりでは、お茶本来の魅力だけでなく、スイーツや調味料への活用など、新たな可能性を多くの皆さんに知っていただくことができました。

また、全国的に若い世代の「お茶離れ」が課題となる中、多くの若い世代の方に来場していただくとともに、「日本茶のおいしさ」を改めて感じました。「家に帰ってから早速急須で淹れてみよう」「なぐ」「うれしい」意見も数多く聞くことができ、大変有意義な一日間となりました。

「ご来場いただいた皆さん、お茶を使った新商品開発などに協力いただいた皆さん、おもてなしの心で運営などに尽力いただいた関係者の皆さん、ありがとうございました。」

スイーツ  
総選挙  
表彰式



グランプリ  
「サクッと  
幸福」



今回の大会を機に、市内店舗等により、お茶を使った新商品が数多く誕生し、お披露目されました



高校生に淹れ方を教わりながら世知原茶を楽しむ「SASHO-Cafe」。丁寧なおもてなしのおかげで、お茶本来のおいしさと楽しい会話の両方を堪能することができました



「お湯の温度は上級煎茶で70度、中級煎茶で80〜90度くらいが適しています」など、日本茶インストラクターに実演していただきながら分かりやすく学ぶことができた「日本茶の淹れ方レクチャーコーナー」



「世知原茶塩で食す地元の長崎和牛」のコーナー。飲むだけでなくお茶の活用方法として試食・販売会が催され、多くの人がお茶の新たな楽しみ方を体験しました



全国茶品評会展示会場(上) 蒸し製玉緑茶部門で産地賞全国2位を受賞した世知原茶(下)



「本大会を通じ相互に切磋琢磨することで日本茶業界の明るい未来が切り開かれることを期待しています」と記念式典であいさつする朝長市長